



陰翳と漆

Shoko Taruma Exhibition
Lacquer and worship of shadows

柞磨祥子展

2019 11.2 (土 sat)

11.10 (日 sun)

12:00-17:00*

*土日祝は19時(最終日は16時)まで



GALLERY
SUUJIN

ギャラリー 崇仁 元崇仁小学校内
| 京都市下京区川端町16 | 京都駅より徒歩9分 |

いん えい うるし 陰翳と漆 柞磨祥子展

Lacquer and worship of shadows

Shoko Taruma Exhibition

昔から日本人が自然の中で培ってきた美意識の一つに、「闇」の中で美を見出す美しい感性があります。暗がりのある日本家屋、乏しい光の中における効果、ともし火を反射する加減を考慮した漆器の肌、幾重もの「闇」が堆積したような色使いなど、その美意識は「陰翳礼讃」と呼ばれています。柞磨祥子はその影響を受けて、京都に拠点を構え、古き良き「陰翳」の概念から現代の流れを具現化した現代美術の作品を発表しています。

As one of the senses of beauty that Japanese have fostered aligned with the principles of nature since old times, there is the perception of finding beauty inside the "darkness." Traditional Japanese houses that have a certain dimness, the effects that can be created in poor light, the surfaces of Japanese lacquer wares that have been created considering how the light of a lamp reflects on them, a use of color that seems as if several layers of "darkness" overlapped. This sense of beauty is called the "worship of shadows." Influenced by this and moving around Kyoto, Shoko Taruma announces works of contemporary art that realize the flow of the present based on the well-tried principle of "shadow."



《one》h200cm 漆、麻布、石膏、和紙
Japanese lacquer, linen, plaster, Japanese paper (2014)



柞磨祥子 [Shoko Taruma] www.shoko-taruma.com

1991年広島県出身。2016年京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程修了。2018年より京都市立芸術大学非常勤講師、現在京都を拠点に活動。

主な個展・展覧会に、stream-2(2019, artion art gallery, 京都), Stream (2019, The Gallery by SOIL, 香港), 実在と黒(2018, ギャラリー白, 大阪), Skye Niseko, Hokkaido, Japan(リゾートホテルコレクション常設展)。

その他グループ展・アートフェアに、京都府新鋭選抜展(2019/2018, 京都文化博物館), Asia Now(2019, 9 Avenue Hoche, Paris 8e, パリ), Infinity Japan (2019, ホテル・ロイヤル・ニッコー台北, 台湾), Master Jewelry & Craft Show Taiwan(2019, 新光三越, 台湾), 3 Dimensions(2018, The Muse Gallery, ロンドン), Art Rainbow Project(2016, Kunsthalle Rostock, ドイツ), 漆芸の未来を拓く(2016, 輪島漆芸美術館, 石川), 日韓交流展(2016, カンヌ市美術館, ソウル梨花女子大学, 伊丹市工芸センター)など多数。

京都市立芸術大学移転整備ブレ事業
《教室のフィロソフィー》第13弾
柞磨祥子 個展『陰翳と漆』展覧会情報



https://www.kcuu.ac.jp/20191102_taruma/

主催／京都市立芸術大学 <http://www.kcuu.ac.jp/>
企画支援／京都市立芸術大学キャリアデザインセンター
問合せ先／事務局 総務広報課 ☎ 075-334-2200

《playing》h26×89×138cm
漆、麻布、石膏、和紙、ウォールナット材
Japanese lacquer, linen, plaster,
Japanese paper, walnut wood (2015)



2023年、京都市立芸術大学は京都駅東部への移転を予定しています。予定地内の[元崇仁小学校]にて様々な事業を行っています。

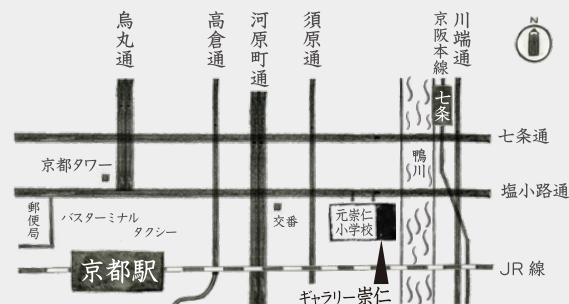


この町と、これからも、
この町と、いつまでも。



小学校の職員室であった空間が
本学学生の設計・デザインにより
ギャラリーに生まれ変わりました。

京都市立芸術大学では移転整備ブレ事業として、この新たな展示空間「ギャラリー崇仁」において若手作家を支援するためのプロジェクト「教室のフィロソフィー」を実施しています。このプロジェクトでは、本学を卒業、あるいは大学院を修了した若手作家を、小学校解体までの期間、連続して紹介していきます。絵画・彫刻・デザイン・工芸等様々な専攻で学び、新たな表現を生み出そうと苦闘している作家たちが生み出した作品群からは、現代の新しいアートの息吹を感じていただけることと思います。



ギャラリー 崇仁 元崇仁小学校内 京都市下京区川端町16



JR 京都駅中央口より徒歩 9 分
地下鉄烏丸線京都駅ポルタ A3出口より徒歩 7 分
京阪七条駅 1 番出口より徒歩 6 分
※お車でのご来場はご遠慮ください。